

第12回「八戸工業大学同窓生の集う会」案内

今年八戸工業大学は創立40周年という大きな節目を迎えました。八戸工業大学の卒業生は1万6千5百名を超え、国内はもとより世界中で幅広い業種にわたって活躍されています。一方で、設立当時を知る教職員の方々は殆ど退職され、次の世代へとバトンが渡されています。この世代交代の一つの節目でもある40周年を機に同窓生の皆様と新旧教職員の方々とが一堂に会して、これまでの八戸工業大学の歴史を振り返りながら大学と同窓会との連携について話し合う場を設けたいと考えています。我々同窓生が卒業生として、大学に対して何を望むのか、また何ができるのかについて語り合い、大学のさらなる発展の一助とできればと考えています。

当日、大学では学友会主催による学園祭が開催されています。学生たちの活動状況や学科の様子、大学の設備等を知る機会として、また、懐かしい友人や先生方に会う機会としても活用していただければ幸いです。心より皆様の参加をお待ちしています。

また、交流会は八戸グランドホテルに会場を移して開催します。当日参加できない同窓生の皆様には同封の葉書でメッセージを寄せていただきたいと思います。寄せられたメッセージは懇親会場に掲示させていただき、参加される同窓生・教職員への伝言板として活用したいと思っておりますので、近況や友人・先生方への伝言などどんなことでも構いませんのでお寄せください。



第11回 八戸工業大学同窓生の集う会

◎日時：平成24年10月6日(土)

○第1部

テーマ：「八戸工業大学と同窓会のこれまでとこれから」

概要：大学および同窓会の歴史を振り返ると共に、これからの大学と同窓会が発展するための方策について語る

場 所：八戸工業大学 大会議室(教養棟3階)

時 間：14:00～15:30

登壇者：松坂知行先生、小山信次先生、目修三先生、
白川直人同窓会会長(昭和54年建築工学科卒)(予定)

コーディネーター：浅利能之氏(元弘前工業高校校長、昭和51年電気工学科卒)

○第2部

内 容：交流会

場 所：八戸グランドホテル 八戸市番町14 0178-46-1234

時 間：17:30～20:00

◎会費：5,000円(第2部。当日会場受付にて申し受けます)

ただし、平成21年～23年度卒業生および女性は3,000円といたします。

【参加お申し込み先】

①同封のハガキ、または、②電子メール「氏名、卒業学科、卒業年度、(ご存知の方は学籍番号もお願いします)を記載して同窓会本部事務局(dosokai@hi-tech.ac.jp)へ」、③同封のフリーFAX用紙「(株)同窓会事務局へ」のいずれかで9月18日までに申し込みください。

関東支部同窓会のご案内

日 時：平成24年9月8日(土) 17:00～

場 所：八重洲富士屋ホテル
東京都中央区八重洲2丁目9-1
TEL 03-3273-0220

会 費：6,000円(女性、卒業後3年目までは4,000円)

申込先：dousokai_kanto@yahoo.co.jp
(同窓会関東支部事務局宛)

締 切：平成24年8月31日(金)

秋田支部同窓会のご案内

日 時：平成24年10月20日(土) 18:30～

場 所：協働大町ビル
秋田市大町三丁目2-44
TEL 018-863-2111

会 費：5,000円

申込先：m-kikuchi@aki-ta-sousin.or.jp
(秋田支部幹事長 菊地雅敏宛)

締 切：平成24年10月5日(金)

東北支部同窓会のご案内

日 時：平成24年9月29日(土) 18:00～

場 所：レオパレス仙台 地下1階ホール
仙台市宮城野区榴岡4-6-28
TEL 022-706-0001

会 費：5,000円

申込先：s.narasaka@eco-ls.co.jp
(同窓会東北支部事務局宛)

締 切：平成24年9月21日(金)

北海道支部道南分会同窓会のご案内

日 時：平成24年9月29日(土)

総会18:30～ 懇親会19:00～
場 所：よし庵 北海道函館市亀田町17-22
TEL 0138-42-7611

会 費：5,000円

申込先：h-yama@yk-tei.to.co.jp
(道南分会事務局 山本浩道宛)

締 切：平成24年9月20日(木)

※各同窓会ともに大学から多数の教職員が参加する予定です。

詳しくは同窓会HP (<http://alumni.hi-tech.ac.jp/>)にてご確認ください

未定情報および参加教職員等については、決定次第HPでお知らせします。

※同窓会への参加申し込みは、同窓会本部事務局(dosokai@hi-tech.ac.jp)でも受け付けます。

八戸工業大学 同窓会 会報

HIIT Alumni Association Journal

第18号
8月発行

八戸工業大学
同窓会本部事務局

TEL:0178-25-8027

FAX:0178-25-3827

印刷・編集 (株)同窓会事務局

HAMS(メールマガジン)会員 登録のご案内

登録手順1 仮登録

普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。

hams@alumni.hi-tech.ac.jp

登録手順2 本登録

空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



平成23年度 八戸工業大学同窓会事業報告及び決算報告

平成23年4月1日～平成24年3月31日

事業報告

<本部>

月日	事業内容	
6月18日(土)	臨時理事会	16時30分
6月18日(土)	定例代議員会	18時00分
8月6日(土)	工大二高同窓会納涼パーティー	18時00分
8月中旬	同窓会報(第17号)発行	
9月23日(金)	第11回同窓生の集う会	
	第一部記念講演	14時00分
	第二部集う会	15時30分
10月22日(土)	定例理事会	15時00分
11月7日(月)	工大グループ同窓会連絡会	18時30分
11月28日(月)	八戸市災害復興基金へ寄付	13時00分
3月18日(日)	定例理事会	14時00分
3月19日(月)	学位記授与式 便覧・記念品配布	

<支部・分会>

月日	事業内容	
4月30日(土)	感性デザイン同窓会「第11回同窓生の集う会」実行委員会	
5月17日(火)	拓北会 教職に関する講演会	10時30分
5月28日(土)	H23年度第1回学匠会幹事会	18時00分
6月4日(土)	拓北会 キャリアデザイン卒業生講演会	14時30分
6月7日(火)	秋田支部役員会	
6月10日(金)	拓北会 キャリアデザイン卒業生講演会	14時30分
6月14日(火)	拓北会 八戸東高校講演会	13時00分
6月18日(土)	感性デザイン同窓会「第11回同窓生の集う会」実行委員会	15時00分
6月27日(月)	シビル会 卒業生講演会への派遣	10時30分
7月9日(土)	北海道支部総会	
8月22日(月)	拓北会 インターンシップ受け入れ事業	
8月23日(火)	シビル会 情報化施工見学・実習会	11時00分
9月10日(土)	関東支部総会	16時30分
9月13日(火)	シビル会同窓会	17時30分
9月17日(土)	仙台支部総会	18時30分
9月23日(金)	感性デザイン同窓会役員会	11時30分
	第1回水交会役員会・総会	12時30分
	拓北会緊急役員会	13時00分
10月8日(土)	うみねこ会役員会・幹事会・懇親会	18時30分
10月8日～9日	拓北会会員作品展	
10月11日(火)	秋田支部役員会	
10月15日(土)	秋田支部総会	
10月28日(金)	拓北会 大樹町ムサビツ参加	
10月29日(土)	北海道支部道南分会総会	
12月2日(金)	シビル会 土木施工見学会	10時00分
2月10日(金)	拓北会 毛呂先生退職記念事業	10時30分
2月15日(水)	うみねこ会幹事会	13時00分
2月25日～26日	拓北会 2011卒業研修展	
3月3日(土)	拓北会役員会	14時00分
3月30日(金)	北海道支部道東分会総会	

決算報告

一般会計

収入の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
会費	6,800,000	6,500,000	△ 300,000
会報協力費	700,000	520,700	△ 179,300
広告収入	300,000	120,000	△ 180,000
雑収入	40,000	436,750	396,750
前年度繰越金	8,899,798	8,899,798	0
計	16,739,798	16,477,248	△ 262,550

支出の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
会議費	400,000	126,878	△ 273,122
旅費交通費	1,100,000	693,000	△ 407,000
印刷費	1,000,000	2,337,375	1,337,375
通信費	900,000	26,675	△ 873,325
支部関係	1,350,000	1,182,208	△ 167,792
運営費関係	50,000	420	△ 49,580
分会助成費関係	2,100,000	778,341	△ 1,321,659
業務委託費	400,000	291,840	△ 108,160
積立金	1,000,000	0	△ 1,000,000
慶弔費関係	300,000	267,666	△ 32,334
予備費	8,139,798	1,564,580	△ 6,575,218
計	16,739,798	7,268,983	△ 9,470,815

収入総計(決算額)－支出総計(決算額)＝次年度繰越金 9,208,265 円

特別会計

収入の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
当期積立金	1,000,000	0	△ 1,000,000
前年度繰越金	19,000,000	19,000,000	0
計	20,000,000	19,000,000	△ 1,000,000

平成23年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成24年6月19日

監事 千葉 兼喜

監事 石藤 千春

平成24年度

● 定例代議員会報告

平成24年6月23日(土)、八戸グランドホテルにおいて平成24年度定例代議員会が開催されました。第1号議案では、10月6日(土)に開催する「第12回同窓生の集う会」について概要が報告され、大学事務局が中心となって進めていくことが了承されています。第2号議案では、平成23年度の事業報告ならびに決算について報告があり、分会・支部の決算額詳細などを確認し承認されました。第3号議案では平成24年度の事業計画と予算案の説明があり、提案通り承認されました。第4号議案では土木建築工学科第一期生の受け入れ先となるシビル会(土木系)と拓北会(建築系)での検討内容の報告を受け、引き続き両会で検討して今後の理事会等で協議していくこととなりました。

報告第1号では、同窓会便覧(2012)を発行し、平成23年度卒業生に配布したことの報告がありました。

なお、代議員会における議案および報告は次に示すとおりです。

● 議案

第1号議案 第12回同窓生の集う会に関する件

第2号議案 平成23年度同窓会事業報告及び決算に関する件

第3号議案 平成24年度同窓会事業計画及び予算に関する件

第4号議案 同窓会組織の見直しについて

● 報告

第1号 八戸工業大学同窓会便覧(2012)発行について

平成24年度

● 「第10回北海道支部同窓会」

平成24年7月7日(土) 18時30分から、ロイトン札幌において第10回北海道支部総会が開催されました。同窓生および大学教職員あわせて55名ほどの参加があり、日頃疎遠になりつつある卒業生同士や恩師との情報交換、交流を深めました。今年は、北海道支部を6年にわたって支えてこられた大道支部長が、転勤のため北海道を離れることとなり、私が支部長を引き継ぐこととなりました。これからも北海道支部を盛り上げていきたいと思っております。これからも北海道支部の皆様のご協力をお願い致します。

余興では、抽選によって指名された同窓生によるカラオケ選手権大会が開催され、審査員には熊谷教授と野田教授を指名させていただきました。お二人の厳正で場の空気を読んだ採点により、平成3年土木科卒 道南分会幹事の河野光春さんが見事優勝し、豪華賞品をゲットするなど、大いに盛り上がりました。

支部総会に参加して下さった同窓生の皆様、また、お忙しい中参加いただいた大学教職員に対してお礼を申し上げます。

なお、来年度の支部同窓会も7月に開催する予定です。

是非北海道支部のパワーを体感しに来てください。

多くの同窓会会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

八戸工業大学同窓会

北海道支部

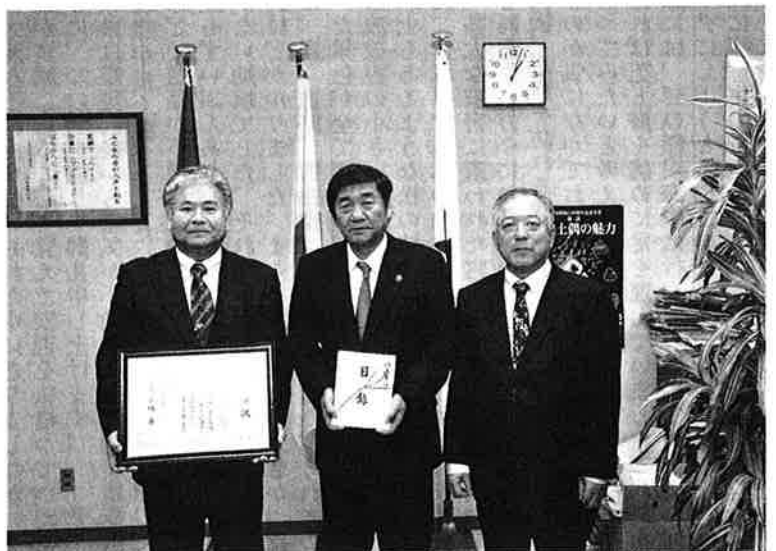
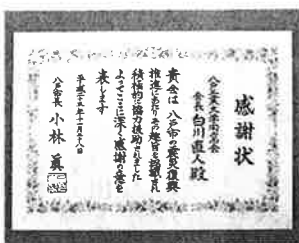
支部長 西岡 邦夫

第10回 八戸工業大学同窓会 北海道支部総会



東日本大震災からの復興に向けて 八戸市へ100万円寄付

平成23年11月28日に同窓会を代表して、白川会長と福士副会長が小林八戸市長を訪問し、八戸市災害復興基金に100万円を寄付いたしました。これは、同窓生の皆様から「八戸工業大学同窓会災害基金」へ寄せられた206,209円に同窓会からの寄付を合わせたものです。多くの同窓生の皆様からの基金に対するご協力に対しお礼申し上げます。



蒼峰会 活動報告

自己紹介

(旭ダンケ 札幌支店
営業部 課長 西岡 邦夫



同窓生の皆様におかれましては、お元気でご活躍のことと存じます。今期第10回より同窓会北海道支部長を拝命いたしました。

私は、昭和54年度産業機械工学科卒で研究室は、既に2009年3月末をもって勇退されました小山信次教授にご指導を頂きました。

入学当時は、およそ半数が北海道各地から八工大へ希望と不安を抱きながらの進学でした。まだまだ歴史は浅く、この年に土木工学科及び建築工学科が新設された年でもありました。

高校は、普通科でしたので2年目までの一般教養の科目ではそれ程難しい内容の授業は多くはありませんでしたが、3年目からの専門課程に移行するに伴い、専門用語の嵐で意味不明・理解不能な講義が多く、工業高校卒の学友に度々教えてもらい助かりました。

一番苦手だった授業が製図で、特に思い出すのは精密ボイラーの図面10枚を2週間の納期で提出した時、他の授業は代返(ダイヘン)に頼り夜遅くまで格闘していたことが今ではとても懐かしく思い出します。

又、当時の講義休講の情報は校内の掲示板に貼りだされるのみだったので、休講は嬉しかったのですが、当時パスの便数も少なくバイト先や帰宅する場合は数名の車通学の学友に頼み込み乗せてもらうなど、現在では考えられない数々の想い出があります。

何れともあれ八工大での4年間は、多くの友に出会い、親睦を深め、良く学び、大いに遊び、ご指導頂いた教職員の皆様には、大変ご迷惑をかけたながらも温かく見守っていただき、生活面では大病する事無くとても充実した学生生活を送ることが出来ました。お世話になった皆様に深く感謝申し上げます。

卒業後は、道内企業のコンクリート総合メーカーに就職し、早いもので今年で32年目となりました。



生コンクリート・二次製品(緑石類・管類・河川護岸用ブロック・etc)の製造販売で歴史は古く、昭和6年に個人経営が発端で現在に至っております。公共事業への納品が主体の為、年々建設業界を取り巻く環境は厳しさを増している中で、他社メーカーとの差別化(近年のエコ・リサイクル指向等)が図れる独自の製品開発など、課題が多い業種でもあり本来の共存共栄の時代では無く「強存強栄」の現在となっております。

この事は、公共事業関連企業に係わらず全ての業種でも言える時代となった感があるのではないのでしょうか？

母校において近年の少子化は避けられない状況の中で、工学部の再構築を図り学生確保に苦慮されていると思いますが、同窓会員の家族、親類、知人で進学予定者がいる場合には母校を推薦し、一人でも多く自分の後輩となつてもらえるよう努めることも今後の同窓会発展に大きく関わってくることとなり、特に北海道からの近年入学者数減少を回復出来ればと案じる次第です。

又、優秀でバイタリティーのある学生が、今後も輩出されて来る訳ですが、北海道支部では、他支部に負けない位の精神面フオーカスを行い、慣れない土地、職場環境、人間関係等様々な悩み事に対して諸先輩達が相談のつてくれ温かくアドバイスをしてください。時には、厳しく忠告が出来る優秀な人材が大勢おりますので、特に新卒者の方々は、支部登録を忘れず、同窓会に積極的に参加していただき交流を深めていただきたいと思います。

今後とも本部との連携を密に図り、北海道支部が、更に強固な組織となり、各支部との協調性をより一層深め同窓会が発展となる様、微力ではありますが努力していきたいと思っております。

末筆にて大変恐縮ではございますが、皆様、ご承知の通り昨年の3月11日、突如自然の脅威を見せつけさせられた東日本大震災では、数多くの同窓生が、居住する地域で在校生1名を含む大勢の犠牲者となられた方々に対し鎮魂を願いますと共に、そのご家族の皆様にご挨拶やお悔やみを申し上げ、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。復興が一日でも早く完了することを切にお祈りいたします。

近況報告

2001年 機械工学科卒 及川 浩司

大学を卒業してから、11年の月日が流れました。現在、私は宮城県公立学校に勤務しております。

大学入学後、大学生活について先輩や先生方から様々なアドバイスいただきましたが、決まって『良き友人をつくる』の一言があったと記憶しております。幸いアドバイス通り、多くの良き友人にめぐり合えました。楽しい時間を過ごすことはもちろん、勉強を教えあつたりと、友人の存在が自分の見聞をさらに広げてくれました。

今年は、偶然にも3名の同窓生と職場を共にしております。皆年齢が近く、大学に在籍していた時期も同じです。私も含め、同窓生が4名もいると大学時代の話題が尽きることはありません。ちょっととした思い出からも話が華が咲きます。そのような環境もあり最近では八戸を思い出す機会が多くなりました。また、同窓生の3名はいずれも非常に優秀な教員であり、良い刺激を与えてくれるありがたい存在です。

先日同窓生・友人のありがたさを感じました。昨年3月に発生した東日本大震災の際に、多くの知人・友人から身を案じていただきました。当時は、東日本に住む多くの方が大変な不自由を強いられた中にありましたが、それでも私が宮城に居ることを覚えて安否を気遣っていたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

宮城県は震災直後から電気が不通となり、携帯電話も不通の状態が長く続きました。私の居住地区は内陸のため、隆起などで道路が不通になったところもあつたり、倒壊した家屋もずいぶんありましたが、宮城県としては比較的被害が少ない地域でした。それでも、電気が使用できるまでは10日ほどかかりました。また、津波被害の大きかった場所では、家、道路、街路樹、全てが無くなり、それまで見えていた景色が全て変わり、ただただ呆然とする状況でした。津波被害の小さいところも家の中は泥まみれで、直径10cm以上もあるような松の枝が折れて、流されている状況でした。宮城県でも私の知る範囲ではこのような被害状況です。甚大な被害に遭われた宮城や岩手、福島、茨城、青森など同窓生の方々にお見舞い申し上げます。

震災後、八戸を訪れる機会がなく、その後どのようになっているのか気になっておりましたが、今年久しぶりに八戸に行つてみたいと考えています。種差海岸が好きで、時間があれば芝と海を眺めに足を運んでいました。八戸を訪れた際には、ぜひ種差海岸に行つて、職場での小さな同窓会のネタにしようと思っております。

最後に同窓生の皆様、ますますのご発展をご祈念申し上げます。文末といたします。

水交会活動報告

OB・OGだより

岩澤 利治 さん

平成7年 電気工学科卒（関研究室）
現在：岩手県立盛岡工業高等学校教諭



卒業後は故郷の岩手県で工業高校の教員をしております。教員1年目の時に、授業で使う教材のことで、当時研究室でお世話になった関秀廣先生の元へ相談に押しかけたところ、ご多忙中にもかかわらず時間を割いてアドバイスを資料等の提供を頂きました。懐かしく、ありがたい思い出です。私にとって八戸工業大学で過ごした4年間は、尊敬する先生方、そして良き友人に恵まれ、本当に充実した日々でした。

3月11日の震災による津波で当時勤務していた母校の宮古工業高校は1階が水没し、それから校舎が復旧するまでの約半年間、別の高校の教室を間借りして授業をしました。当然そこには工業高校のような実習室や機材は無く、屋外や放課後の空き教室に工具や電線を運んで実習をした日もありました。そんな不自由な環境でも、生徒たちが目標を見失わずに頑張る姿を目の当たりにし、私たち教員の方が生徒から元気をもらったのを昨日のこのように思い出します。それは将来このエンジニアの卵たちが、必ずや復興を成し遂げてくれると確信した瞬間でもありました。被災地はまだまだ困難な状況が続くと思われまします。それを打破するためにもエンジニアの力が必要不可欠です。私自身はもちろんのこと、教え子や八戸工業大学の卒業生がその役割を担うことを夢見て、これからも教壇に立ち続けたいと思います。



鎌田 和久 さん

平成9年 電気工学科卒（藤田研究室）
現在：福島県南相馬市役所建設部
水道課主査

学生時代は、勉学に励むと共に、部活動（柔道）に明け暮れた記憶があります。大きな怪我也しましたが、その分辛いことを乗り越える力を得たと思っております。

卒業して、福島県小高町役場に入庁し、合併を経て南相馬市役所職員となりました。この間、水道課に所属し浄水場の維持管理、配水管布設監督などの技術部門を歩いて来ました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。南相馬市の沿岸部も津波により壊滅し、更には東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により市内の一部が警戒区域に指定されるなど、甚大な被害を受けました。

水道施設復旧のために奔走する日々を過ごしましたが、学生時代に培ってきた知識と忍耐力で乗り越えてこれたと思っております。

現在は、平成24年4月16日に警戒区域が解除されたため、旧警戒区域内の水道施設復旧に全力を注いでおります。

同窓生、在校生の皆様にも被災され辛い思いをなさっている方もおられると思いますが、顔をあげて前を見据えて歩くことにより、必ず前進することができます。お互いに頑張つて乗り越えていきましょう。

■同窓生としての抱負

平成24年電子知能システム学科卒
就職先：株式会社NTTファイナリティーズ東北
神山 大貴 さん



八戸工業大学での4年間は多くのことを学ぶことができた時間でした。様々な講義を通じて専門分野での基礎知識はもちろんのこと、自ら積極的に学習することでそれらを活かし応用する能力を身につけられました。また文化会に所属し、文科系サークルの運営やイベントの企画・開催などを通して、多くの人々とコミュニケーションを取り協力することの重要性を学びました。

卒業研修においては、佐々木・藤田研究室に所属し、太陽電池の効率改善用の波長選択性透過薄膜の自動設計プログラムの開発を行いました。これまで学んできた知識だけでは足りず、幅広い分野の知識を改めて学ぶ必要がありました。その甲斐もあり自分の視野が広がり、様々な視点から物事を考えることができるようになりました。

卒業後は大学での知識や経験を活かしつつ、何事にも積極的に取り組み、常に新しいことを学びながら日々精進していきたく思います。

ていきたく思います。

■学科近況報告

電気電子システム学科長

川又 憲 先生



水交会同窓生の皆様、元氣にご活躍のこと心からお慶び申し上げます。私は本年度電気電子システム学科長を仰せつかりました川又憲でございます。私自身は本学が創立20周年を迎えた平成4年4月に赴任しましたので、交わりをもつた卒業生の皆様は大凡半数ということになります。どうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年は東日本大震災や国内外の水害など、自然災害に見舞われた厳しい年でした。同窓生の皆様も被災あるいは様々な影響をお受けになった方も多いと思います。我々技術者は、このような難局を乗り越え、今まで以上に豊かで暮らしやすい社会を築いていかなくてはなりません。同窓生の皆様におかれましては、それぞれの立場において一層のご活躍を祈念申し上げます。

今年、本学は創立40周年を迎えました。大学院博士課程を有した成熟した大学として、着実に発展を遂げているところと。学科では、この4月、電力エネルギー分野の教員として東北大学から濱島高太郎教授をお迎えし、電力分野の一層の強化を行いました。また、関秀廣教授が学長補佐に就任され、大学の運営に大きく貢献されているところです。さらに、これまで継続してきたJABEE（日本技術者教育認定機構）によるプログラムの中間審査も滞りなく済み、無事に認定を受けました。

本学40年の歴史は、私ども教職員スタッフと同窓生の皆様一人ひとりの歩みにより刻みこまれた大いなる時間です。今後も皆様のご協力を賜りながら、われらの八戸工業大学の歴史を築いて参るところです。どうぞ、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

最適環境空間を最新の技術でお届け致します。

三宝電機株式会社

URL: <http://www.seamec.co.jp>

各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

東京支店 〒105-0003 東京都港区西新橋3-8-35 新橋ビル5F
TEL.03-5472-3311 FAX.03-5472-0085

シビル会 活動報告

OB講演会開催

平成23年6月10日および17日に1、2年生を対象に授業の一環（キャリア教育関係）として、3名の卒業生によるOB講演会を開催しました。



元沢千寿さんの講演

元沢千寿さん（土木工学科3期）には、「地方公務員の仕事」、嶋本勝さん（土木工学科1期）には、「土木コンサルタント業務と技術士」、そして岩館則彦さん（土木工学科1期非常勤講師）には、「土木・建築施工と今後」について、ご講演を頂きました。

特に、知識、技術と併にコミュニケーション力の重要性を皆様とも述べておりました。また、それぞれの立場からの、東日本大震災への支援・貢献についての発言もありました。

八戸南道路情報化施工現場見学会

平成23年8月23日（火）に、八戸南道路における情報化施工現場見学会を開催しました。見学会では、金ヶ瀬一徳さん（土木工学科1期）も参加し、現場監督業務、情報化施工による高効率・高精度なマシンコントロールについて



八戸南道路情報化施工実習



八戸南道路情報化施工実習

説明をしていただきました。その後、実際の工事現場で最先端の自動追尾トータルステーションを用いたモーターグライダーのコントロールや出来形管理の実習を行うなど貴重な体験をすることが出来ました。



シビル会同窓会

シビル会同窓会開催

平成23年9月13日（火）同窓生の集う会終了後、天晴屋にて同窓生17名および教員3名にてシビル会二次会を開催しました。すき焼きを食べながら日頃なかなか合うことが出来ない卒業生同士の交流を深め、大いに盛り上がる会となりました。参加いただいた同窓生ならびに大学教員に対して厚くお礼を申し上げます。

応用測量学及び実習 単曲線設置実習を実施

土木建築工学科「応用測量学及び実習」において、石橋学非常勤講師（土木工学科17期）と高島技術員の指導の下、本学内において単曲線設置や路線測量（縦・横断測量）の実習を行いました。実習期間中は、天候にも恵まれ受講学生は、熱心に作業を行い、各班とも精度の高い結果を得られました。



応用測量学・実習風景

施工現場見学会

平成23年12月2日（金）に、「土木施工」（岩館則彦非常勤講師、土木工学科1期）の授業の一環として、南部町、三戸町および新郷村での交通安全施設設備、橋梁、道路改良および森林管理道路開設工事の施工現場見学会を行いました。施工現場の案内を夏堀大司さん（土木工学科5期、



土木施工現場見学会

第4回青森土木フォーラム「災害とくらし」開催

平成23年11月12日（土）に八戸工業大学において、第4回青森土木フォーラムが開催され、卒業生をはじめ約160人が参加しました。本フォーラムは土木工学の地域における役割・使命を考えることを目的として、平成20年から八戸市・青森市・弘前市で順番に開催されています。今回のフォーラムでは、「災害とくらし」をテーマに、東日本大震災の被災状況とこれからの土木、災害ボランティアや新聞記者の視点から見た災害時の土木技術者の役割等について、基調講演・パネルディスカッション・ポスター展により議論を深めました。



第4回青森土木フォーラム

東日本大震災フォーラム

土木施設の被害と復旧ー開催

平成24年3月10日（土）に、八戸グランドホテルにおいて、東北地方大震災フォーラムー土木施設の被害と復旧ーが開催され、震災後1年を経過した今、地震や津波の全体像を考え、今後の災害に対して備えは万全か、何が必要なのかを議論しました。フォーラムでは、3件の基調講演の後、8名の講演者の方々から、地震の概要や震災後の調査結果・研究報告が行われました。卒業生など参加者約300名で、行政、教育・研究機関の方のみならず、一般の市民の方や地元技術者の方にも多く参加を頂きました。基調講演、研究報告の後の意見交換の時間には、多くの質問があり、活発な議論が行われました。



東日本大震災フォーラム

拓北会 活動報告

「拓北会」のこれから

拓北会会長 高橋 和雄

同窓生の皆さんお元気でしょうか。建築工学科同窓会拓北会会長の建築工学科2回生の高橋です。大学を卒業して早30年余りが経ち、容姿体型は完全におじさんであります。大学の門をくぐり、先生方とお会いするたび、気持ちちは学生にもどることができ、母校のありがたさを痛感しています。

私は現在、青森県立十和田工業高等学校に勤務しております。本校は今年創立50周年を迎え、機械・エネルギー科、電子機械科、電気科、電子科、建築科の5科からなる工業高校です。まだ、赴任して3ヶ月ですので、組織の違いに戸惑いながらも、608名の元気の良い生徒たちと共に毎日過ごしています。同窓生の中にも、卒業生がいっぱいやるのではないのでしょうか。

学校が建つ十和田市は、八甲田山、十和田湖、奥入瀬渓流と風光明媚な恵まれた自然環境にあり、近年は十和田現代美術館の開館・アート広場の完成により、官庁街に彫刻やモニュメントなどが点在しており、芸術・文化に触れながら街歩きが楽しめるようになりました。また、B級ご当地グルメ「十和田バラ焼き」のPRにより、食の話題でも注目されております。今度、お近くに来られた際は、どうぞ堪能ください。

さて、拓北会は建築工学科卒業生の同窓会です。同窓会発足時には、東北で最も北にある建築科であることから、「北の大地を我々の手で切り拓く」思いを込め、「拓北会」と命名されたものです。現在、同窓生は3077名となります。2010年に建築工学科開設35年、拓北会誕生30年記念として「HITTA2010」を開催しました。

以前開催した「HITTA2000」や「HITTA2005」には残念ながら及びませんでした。多くの拓北会員にご参加いただき、久しぶりにお会いした皆様と思い出話に花を咲かせることができました。ありがとうございました。

皆様ご存じのように、大学におきまして学科改編が進め

られており、建築工学科と土木工学科が統合し、土木建築工学科(D科)となり土木、建築、社会デザインの3コース制をとっています。土木建築工学科として今年4年目を迎え、平成25年3月には卒業生を輩出します。このような経緯もあり、同窓会の今後の在り方について検討しています。

拓北会役員会及び総会では、これからの卒業生の同窓会となる土木建築工学科同窓会発足に向け準備しながら、これまでの拓北会を継続する方向で検討しています。これには土木工学科同窓会のシビル会の皆様との話し合いが必要ですので、10月に開催する同窓生の集う会を目的として話し合いを進めて参ります。同窓生の皆様、そして拓北会員の皆様のご意見を頂戴したいと存じますので、よろしくお願ひします。

最後に、同窓会開催、懇親会の案内が届きましたら、お気軽にご参加ください。

同窓生の皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



高橋 和雄 (たかはし かずお)

昭和56年建築工学科卒
伊藤敬一研究室

現在：青森県立十和田工業高校
校長 H24. 4~

追記：高橋会長は、平成24年4月より、青森県立十和田工業高校の校長に就任いたしましたことを、ご報告いたします。(拓北会事務局長 齋藤綾子(19回生))

毛呂眞先生最終講義

毛呂眞先生が、本年三月末を持って定年退職されることとなり、最終講義が二月十日(金)に開催されました。最終講義は「過去と未来の間で・・・八工大での三十五年」と題し、ご自身の幼少期から学生時代の思い出、八工大建築工学科へ赴任してからの地震被害の現地調査時の学生との苦労話や、本人の研究内容などを毛呂先生らしく、わかりやすい言葉で講義して頂きました。藤田成隆学長、



毛呂眞先生最終講義『過去と未来の間で -八工大の35年-』
平成24年2月10日(金) 建築棟2階A207教室



毛呂眞先生・桃井龍慈先生を囲む会
平成24年2月10日(金) 八戸グランドホテル

伊藤敬一先生や、卒業生など多数参加して頂きました。先生は、本学創成期の昭和五十二年五月に本学建築工学科助教として赴任され、その後、平成十年四月に同科教授となり、現在に至るまでの三十五年間多くの卒業生を輩出し、大学の発展に大きく貢献されました。最終講義の夕刻、毛呂眞先生と桃井龍慈先生を囲む会が開催されました。本学科教職員や退職された、渡辺正朋先生、澤田紘次先生や同窓生など多数が参加し、盛大に行われました。また、本学名誉教授の授与が決定したことをご報告いたします。

日建学院提携事業のご案内

拓北会では、日建学院と提携事業を行っております。拓北会会員の皆様に通常価格から値引きした特別価格で資格取得講座(一・二級建築士、宅地建物取引主任者)を提供しておりますので、この機会に是非、挑戦しては如何ですか?左記、拓北会ホームページより、案内文、申込フォームをダウンロードしてご検討下さい。

拓北会HPアドレス
<http://www.archi.hi-tech.ac.jp/takuhoku/> の活動報告より。

学会活動報告

このところの近況報告

6期生 世 寿徳

こんにちは、今日は2012年6月15日。一連の某宗教関連事件での最後の特別手配被疑者が逮捕されニュースとなっています。1995年3月20日は前職で勤務していた会社を退職するにあたり最後の出勤日であった事からこの日付が忘れられなくなりまし

た。大学を何とか卒業させてもらい、まだバブルの余韻が残っていたあの頃。昨今の就職難など想像することも無く就職活動も特に苦勞した記憶はありません。当時の自分なりに考えての就職先だったので「石の上にも三年」と思い多少の苦勞は乗り越えていたつもりでした。

しかし、結婚し毎日夜遅くまで働き月休二日くらい(就職前の説明では週休二日制)になつていくことにはなはだ疑問を感じつつ、そのうち子供を授かるものの子供が寝ている姿が見れない事に流石に耐えかねた頃、「そういえば、石の上にも四年目」となり一大決心の末、最初の就職先を辞めました。時はバブル崩壊後。それでも昨今の就職難にはまだまだほど遠いと思いますが、約四カ月ほど無職というものを経験しました。就職活動といつても毎日毎日何か予定が有る訳でも無く時間はそれなりに自由になりましたので、冒頭の某宗教関連報道をよく目にしていました。

今思えば、現職の仕事のある状況や前職でも仕事がある事はなんと幸せなことだろうと思います。結果的に四カ月で済みましたが、なかなか見通しの立たない将来への不安の大きかったこと。そんな思いはあるものの前職での嫌だったことは繰り返したくありません。しっかりとほどほどに休めプライベートの充実を求め、それなりに不純な動機で再就職先を果たし現在に至っております。

改めて考えると現在の就職先では17年目となりました。36歳の時、あの高校時代から倍の人生が...と思つた事を思い出しますが、今年私は44歳。大学卒業からやはり倍の人生が過ぎようとしています。現在の仕事は、心臓ペースメーカーや植込み型除細動器(ICD)の製造メーカー(アメリカ)の日本人法人に勤務し職種は営業職をしております。担当地域内の顧客である専門医師への技術情報提供や病棟スタッフである看護師や技師への教育活動、臨床現場での製品使用のサポートなどが主な業務となつており毎日車で走り回っております。我々の製品によって患者様の苦しみが和らぐ場面に同席したり、患者様からお礼の言葉を頂くことがたまにあり自分なりに少しは社会の役に立っているのかとやり

がいも感じられます。しかし、本当にこの場面で社会の役に立っているのはやはりお医者様だと思えます。日々の研究や臨床への取り組みを見てみると、自身の前職中に嫌だった、夜遅かったり休みが関係無かつたりと、とても私は動きまわらせんし今から医師になる訳にもいきません。

このような顧客を相手にしているだけに病院から病院への移動も多く一日の大半を自動車運転に時間を割かれます。というわけで根が不純な私は何とか楽しめ仕事をこなすために移動に使う車(自己所有)を趣味にし車内では音響環境を整え(音楽など聞きながら)仕事の移動時間を楽しく過ごすこと(結局遊ぶこと)ばかりを考えて仕事をしています。最近の趣味といえば仕事に必要になつたICレコーダーなのですが、どうせ買うならの思いからラジオ付のものを買入りました。タイム録音機能を使いテレフォ

ン人生相談を毎回チェック。これもまた移動時間に聴いています。自分にもそれなりに悩みがありまして世の中にはいるんな人がおりさまざま悩みを抱えてらつしやいます。人の悩みを聞きそれに対するアドバイスはなんと勉強になる事か。本当にお勧めです。

今年取り組もうとしているのは自宅への太陽光発電システムの導入です。大震災後の昨年に続き今年も電力不足が懸念されるなか自分なりに節電する方法と思ひこの考えにだり着きました。今は検討段階ですがどのスペースにとどのようなシステムを導入するか、考えるのが思ひのほか楽しくなつてきました。

とりとめの話ばかりですが要は楽しくやりたいということ。仕事こそ楽しくなければと考えておりだからこそ肝心な部分では真面目にやっています。割合は少ないかもしれませんが、皆さんでもっと楽しんでほしいなと思います。もちろん大変な事もあるかもしれませんが乗り越えればきっと楽しい事が待っています。なかには「ふざけている」と思われる方もいらつしやるかもしれないですが、結構真面目に本気で楽しんで仕事をしたいと思つている近況が少しでも皆さんに伝わればと願っています。

近況報告

学会 22期生(B2期) 高橋 信介

みなさん、如何お過ごしでしょうか。社会人になり早6年目。こうして会報誌に寄稿させて頂く機会を下さつたことで、学生時代の様々な思い出に浸りながら、この近況報告を書かせてもらっています。学生時代は楽しかった思い出、大学で学ぶ4年間は楽しかった思い出、今では笑い話になる思い出ばかりあり、真面目に学業をやっていたかな断言できる自信はありません!(笑)。今更なのですが、ご指導下さつた諸先生方のお陰であり、友人

達の手助けもあつた事で、無事に卒業出来たのだなと改めて感じています。この場を借りて感謝したいと思います。本当にありがとうございました。社会人になつてもたまにですが友人達と飲み会をする事もあり、昔の思い出話に花を咲かせながら、お互いの近況報告などをしてもらっています。最近では結婚など人生の転機を迎えた友人もおり、幸せな報告を聞かせてもらいながら、自分自身の結婚はいつになるのだろうかとも焦ることもあります。(泣)。それでもこうしたい関係が今でも続いている事は、私自身でも嬉しう事であり、大学という学び舎で出会えたことに深く感謝しています。

話は変わりますが私は現在、青森県上北郡六戸町にある株式会社青森フジクラ金矢という会社で働いています。株式会社フジクラグループの一企業として、光機器を中心とする情報通信部門と最先端技術を擁する電子材料部門を事業の柱としています。私の会社では現在の通信手段として定着化した光ファイバーを用いた光通信機器やパソコン用キーボードや自動車用のアンテナなどに利用されるメンブレンスイッチ。電子機器の配線に使われるフラットケーブルや自動車関係に使用される耐熱性の電線。冬期間に効果を発揮する配管凍結防止用の電気ヒータなどの様々な製品を製造しています。

昨年度は震災の影響や、タイ王国での洪水被害など自然災害に見舞われた年となつてしまひ、厳しい一年となりました。平穩な日常がある一つのきっかけでこんなにも簡単に崩れ去るのだなと身をもつて経験する事となつた一年でもありました。私の友人達の中にも被災した方もおり、悲惨な状況を聞いて、命の大切さを改めて感じました。被災された皆様に大切にされては心よりお見舞い申し上げます。私も、一日も早い復興をお祈り申し上げます。フジクラグループに関しては、タイでの洪水被害で現地製造工場に多大な被害を受け、操業停止に追い込まれる事態となりました。現在では復旧が進んで元の生産状況に戻りましたが、日本企業のグローバル化が更に加速して、海外に製造拠点を移す現在においては様々なリスクと戦つていかなければならぬという事を考えさせられる出来事となりました。

そんな中で私は配管凍結防止用の電気ヒータの開発、製造技術担当として毎日、四苦八苦しながら、それでも一歩一歩前進するつもりで日々過ごさせて頂いています。入社した当初は、右も左もわからず、上手くやっていたが、仕事をこなしていきながら、仕事の時から比べると、少し余裕も出来た、目の前のことに精一杯だった自分から、周りの状況を冷静に見られるようになって来たのかな、少しは成長したのかなと感じている次第であります。

開発という仕事は、製品の構想から試作を行い、その後評価という業務の流れになるのですが、自分が期待していた結果につながらないことが難しいのが実情です。結果がダメだったとしても、そのダメだった結果を精査して次の構想につなげるというサイクルの繰り返いです。また、お客様のニーズに沿った製品を作ることも念頭に置かなければなりません。開発段階では作り手の考え方が先行してしまう事が多いのですが、その考えに基づいて作り上げたものが、お客様にとつて本当に使いやすい製品かどうかはわかりません。様々なファクターを意識しながら仕事を進めていかなければならないので、最終的なゴールが見えない状況で日々仕事をしています。多岐にわたる状況で迷つたことへの連続です。

そんな状況が続くと、仕事に対するモチベーションを保つのが難しい時が何度もありました。考えが煮詰まつてしまひ、仕事から逃げ出したくなる時もありました。そんなときに周りの同僚からのサポート、上司からのフォローがあつて、難しい状況も乗り越えられて来ました。

そういつた積み重ねがあつて、最終的に新しい技術・新しい製品を生み出したときの感動は何にも変えがたいものです。会社という組織の中で、仕事は一人じゃなくチームアプローチで進めて行くものだと、事あるごとに感じます。私自身まだまだ学ぶべき事も多く、頼りない部分もあるのですが、会社にとって一つの歯車となり、貢献できる場が沢山あるように成長していかなければならないと思つています。

と、ここまでヘタレの私がカッコつけたことを書いていますが、着実に一歩ずつ、ひたむきに、それでも頑張ります。マイペースを貫いていきたいと思ひます。「頑張る」という言葉は簡単に使うことが多いですが、無理な頑張りは続かないものです。仕事やプライベートを楽しむためにも、頑張りがけをやつていきたいと思ひます。

最後に、八戸工業大学の益々の発展と共に、諸先生方の皆様、および卒業生の皆様のご活躍を祈念して終わりの言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



株式会社ザックス
http://www.i-zax.com

理化学機器・放射線関連製品・試薬・エアフィルター等の販売
化学工場及び研究施設の運転・保守、計量証明・化学分析業務 等

八戸営業所 八戸市南郷家3丁目1-21
TEL: 0178-73-3620

事業所: 東通村、六ヶ所村、大間、八戸青森、弘前、北海道

うみねこ会 活動報告

OB・OG近況報告

○大畑拓也
 (平成22年度卒業：マルマンコンピュータ サービス株式会社)



私は、マルマンコンピュータサービス株式会社で働いています。一年ほど弘前市の本社で看護支援システムのプログラミングやテストの業務を担当していました。現在は、東京支店へ異動しシステム導入作業を行っています。本社での開発作業は慣れない事がほとんどで、1年間でプログラムの考え方や社会人としての基礎など多くのことを学ぶ事が出来たと考えています。その中で、社内の開発作業だけでなく、実際にユーザー様の所へ出向く作業を行うことで自分の視野を広げたいと思うようになり、東京への異動を希望しました。まだ引越して1ヶ月ほどですが、仕事でも私生活でも目標を持ちながら新しい事にチャレンジしていきたいと思っています。

○堀子あゆみ
 (平成22年度卒業生：株式会社NTT・IME)

2010年度卒業の堀子あゆみです。学科はシステム情報工学科でした。現在NTT・IMEで働いています。主な仕事内容は固定電話とインターネットの保守です。今は先輩社



員に同行してOJTをしています。電話もネットも回線やサービスに様々な種類があり、それぞれの特徴や設備を覚えるのが大変です。更にお客様の設備環境も複雑な場合があるので他社製品の知識もある程度なければならぬため学ぶことが多いです。それでも基本的な故障の場合はある程度一人でも考えられるようになったため、修理が終わった際お客様にお礼を言っていただけ時が本当に嬉しかったです。これから一人でも修理することができるようになりたいと思っています。

「教育の質の向上をめざして」

システム情報工学科「システム情報コース」は、2006年度からJABEE(日本技術者教育認定機構)認定の教育プログラムとなっております。このほど、5年を経過したところで認定を継続するための審査を受け、合格しました。審査は、昨年の11月中旬に3日間を掛けて実施されました。JABEE本部に委託された情報処理学会から審査団が派遣されて、教育の仕組み、授業の内容、期末試験の調査などがあり、さらには教職員や学生との面接試験が行われました。その結果、教育の質が国際水準を満たしていること改めて認められたものです。

ところで、「情報および情報関連分野」のJABEE認定プログラムがある大学は、現在のところ全国で29校しかありません。とくに、東北および北海道となると、わずか3大学のみです。私立大学では本学科「システム情報コース」が唯一のJABEE認定プログラムとなります。「システム情報コース」の修了生には卒

業式で、学位記とともにJABEE認定証が手渡されます。そして、難易度の極めて高い国家資格「技術士」の1次試験が免除されることとなります。これまでに「システム情報コース」を修了した学生は15名に上ります。皆さんが県内外の情報系企業で、システムエンジニアとなり活躍しています。

サイバーラボの更新

2011年9月、システム情報工学専門棟1階のサイバーラボの更新が行われました。



更新では、84台ある全てのパソコンを最新のCPU(i7-2600)、メモリ(4GB)、グラフィックカード(AMD RADEON HD 6350)にアップデートし、ネットワークケーブルもCAT6に更新して充実した環境で学ぶことができるようになりました。なお、このサイバーラボは、IT系の様々な資格を受験できるテストセンター(ピアソンVUEテストセンター)の会場にもなっています。在学生はもちろん卒業生も受験することができますので興味がある方は小玉(naru@hi-tech.ac.jp)までご連絡ください。

第10回うみねこ会開催案内

毎年恒例のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」を学園祭初日に開催します。今年で9年目を迎え、毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加可能ですので、是非御参加ください。詳細は後日うみねこ会Webページなどでお知らせします。

開催日：平成24年10月6日(土) 〈学園祭1日目〉

※全学同窓会(集う会) 実施後に行う予定です。

参加予定教職員：栗原伸夫、藤岡与周、小玉成人、伊藤智也、山日康之(他多数)

申し込み先：katsuj@hi-tech.ac.jp (うみねこ会会長 齊藤克治)
 うみねこ会URL：http://alumni.hi-tech.ac.jp/umnineko/

Jimo-lution
ジモリューション

ソリューション/モバイル/サポート・教育支援/インターネット/サービス・技術の維持向上

地元ならではの、きめ細かなサポートと、システム開発からモバイル、プロバイダ、ソフト支援、パソコンジョブまで、地域で発展してきた様々なノウハウと経験、トータルなコーディネート力を活かし、地元ならではのITソリューション(問題解決)を行う企業を目指しています。

住う人の近くで、住う人の気持ちで、お客様満足度の向上に努めています。

株式会社 **サービス** 八戸支店
 TEL.0178-46-2083 FAX.0178-46-2029
 八戸市桜通9丁目5-3 http://www.kbs-web.com

感性デザイン同窓会 活動報告

■第11回同窓生の集う会へのご協力

ありがとうございます

○感性デザイン同窓会会長・平章秀
(平成20年度卒業・第1期生)

昨年、九月二十三日に開催されました第11回同窓生の集う会には、各学科の諸先輩方をはじめ、感性デザイン学部の先生方や卒業生のみなさんの多大なご協力をいただき、無事に終えることができました。準備段階から、当日の運営に至るまで各所でご協力下さった方々には心から御礼申し上げます。

第一部の同窓生の集う会講演会では、感性デザイン学部卒2期生の五十嵐藍葵さんより「感性デザインのチカラ」というテーマで講演をいただきました。現在、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントで、PlayStationなど著名なゲームの制作現場で活躍されている五十嵐藍葵さんですが、感性デザイン学部で学んだことが仕事で活かされていること、感性デザインのチカラ、これからの感性デザイナーの在り方について話していただきました。参加者は120名と多くの方にご来場いただき本当に感謝でした。講演会には、感性デザイン学部の現役生にも参加していただき、先輩の活躍している話を聴いて大変良い刺激になった学生さんも多くおられたようです。今後も同窓生が現役生に向けて情報を提供できる機会を設けられれば幸いです。



第11回同窓生の集う会講演者・五十嵐藍葵さん(第2期生)

第二部の同窓生を集う会懇親会には約150名の方々にご参加いただきました。感性デザイン学部の活動内容について先輩方にさらに知っていただく絶好の機会となりました。乾杯には第4期生の鳴海可奈絵さんがデザインしたラベル

のお酒が使用されました。余興では、地元の小中野えんぶり組に素晴らしい舞を披露していただきました。このえんぶり組には、

第3期生の岡田浩一さんが所属しており、在学中に卒業制作で取り組んだ、えんぶりの烏帽子の作品の紹介もしていただいたので大変盛り上がりしました。さらに、感性デザイン学部の学生も所属している、吹奏楽部による生演奏及び校歌斉唱の伴奏をしていただきました。各所のご協力に心から感謝を申し上げます。第11回同窓生の集う会のコンセプトとして、一昨年度の卒業生の少し遅い卒業祝賀会の意味も込めておりました。一昨年度卒業されたみなさんが東日本大震災の影響で学位記授与式を体育館で実施することができず、また毎年恒例の卒業祝賀会も中止となってしまったからです。今回の集う会には第3期生全員の出席は実現できませんでしたが、多数の3期生が集って下さり、少しは祝賀会としての役割が果たせたような気がします。尚、今回参加された方への記念品については、株式会社金入さんとデザインコラボさせていただいた、いさばのかつちやをモチーフとした八戸手ぬぐいをお持ち帰りいただきました。



同窓生の集う会後、感性デザイン同窓会総会・懇親会にて

同窓生の集う会の後には、感性デザイン同窓会の総会及び懇親会も開催され、同窓生の交流や先生方との再会が果たされました。総会では、役員等の交代・承認も行われ、第2期生以上の役員も誕生し、第1期生としては頼もしい組織となりました。今回の感性デザイン同窓会の中では、右記にもありますように株式会社金入さんとデザインコラボをさせていただいた、八戸手ぬぐいデザインコンペの表彰式も金入さんご臨席のもとに執り行わせていただきました。現役生の表彰者も交えて良い交流の機会となりました。以上のように盛り沢山の内容となりました。ご負担をおかけした方々も多数おられますが、充実した一日となりました。今後とも感性デザイン同窓会をよろしくお願ひ申し上げます。

■新任教員のご紹介

○岩崎真梨子先生

今年度から感性デザイン学部は新しい先生をお迎えすることができました。ここに紹介いたします。

〈岩崎先生より〉

八戸工業大学 卒業生・修士生の皆さん、はじめまして。今年度より国語を担当している岩崎真梨子です。国語のほかにも、日本文学や、日本語検定試験対策の主題別ゼミナールを教えています。

私は、兵庫で生まれて十八年間を過ごし、岡山で大学生・大学院生として九年間を過ごし、ここ八戸に来ました。八戸に来て、最も驚いたのは気温の違いです。岡山と八戸では、気温は五度から十度近く違います。入学式に雪が降るとは思ってもみませんでしたし、桜がゴールデンウィークに咲くなんて想像もできませんでした。これからも、「まさか」と思うことがたくさんあるのだろうと楽しみにしています。



岩崎真梨子先生とデザインコラボ作品
(秋田県での美術・デザイン系進学相談会にて)

八戸工業大学に来てまだ数ヶ月あまり、新しく経験することばかりです。これからも、いろいろなことに挑戦していきたいと思えます。卒業生の皆さんとも、何かの機会でお会いできれば幸いです。どうぞよろしくお願ひします。

■事務局より

会長からの挨拶にもございましたように、お陰様で第11回同窓生の集う会には卒業生をはじめ、学部内の先生方や各所の方々には多大なご協力をいただきました。心より感謝を申し上げます。今後とも感性デザイン同窓会の活動に協力いただけましたら幸いです。

感性デザイン学部には卒業生が度々顔を出してくれています。卒業生のみなさん、大学の近くに來られた際には是非とも学部へお立ち寄り下さい。みなさんを心よりお待ちしております。

同窓会ニュース

・八戸市中心街に防災技術社会システム 研究センター サテライトオープン

平成24年3月11日、八戸工業大学防災技術社会システム研究センターの情報発信拠点として、八戸市中心街(VIANOVA 南ウイング2階)にサテライトをオープンしました。

平成23年4月に東日本大震災を受けて発足した、同センターの防災技術に関する研究活動などの情報発信のほか、市民の方々と大学との情報交換の場としても利用されます。



最近のサテライトでは、放射線量の測定、放射線測定器の貸し出し、各種展示やイベントなどが行われています。特に、毎週土日に開催しているイベントは「H.I.T.ウィークエンド」と称して、月ごとに学科の教員が交代で簡単な実験や研究発表を行うなど、大学まで足を運ばなくても様々な体験ができるよう工夫されています。なお、8月はシステム情報工学科、9月は電気電子システム学科がそれぞれ担当する予定となっています。

サテライトには休憩やミーティングに使えるスペースもありますので、ショッピングなどで近くを訪れた際にはぜひ立ち寄ってご利用ください。

サテライトの雰囲気や情報はスタッフブログをご覧ください。

八戸工業大学 サテライトblog

<http://ameblo.jp/hit-satellite-0311/>

開設時間 10時～18時半

毎週火・水曜はスタッフ不在となりますが、自由に見学できます。

・新任教職員紹介

平成24年度より、8名の方々が採用となりました。今後ともよろしくお願ひします。



濱島 高太郎 (はまじま たかたろう)
工学部 電気電子システム学科 教授

岩崎 真梨子 (いわさき まりこ)
感性デザイン学部 感性デザイン学科 助教

斎藤 昭宏 (さいとう あきひろ)
基礎教育研究センター 助教

大室 康平 (おおむろ こうへい)
基礎教育研究センター 助教

左京 紗也加 (さきょう さやか)
学務部就職課 書記

谷口 絵美 (たにぐち えみ)
入試部入試課 書記

佐々木 綾子 (ささき あやこ)
法人事務局財務課(管財) 書記

出川 光男 (でがわ みつお)
法人事務局総務課 警備員

・退職教職員

本年3月31日をもって、以下の先生方が退職されました。長い間お疲れ様でした。

工学部	バイオ環境工学科	伊藤 幸雄
工学部	機械情報技術学科	町屋 正明
工学部	土木建築工学科	毛呂 眞
工学部	土木建築工学科	桃井 龍慈
感性デザイン学部	感性デザイン学科	徐 明仿

・同窓生の子女・弟妹が入学した場合の 入学金減免について

八戸工業大学では、同窓生のご子女・弟妹を対象に入学金の一部減免措置を実施しております。

皆様のご要望により、入学時の経済的負担を軽減すべく次の通り実施しています。是非、ご活用賜りますようお願い申し上げます。

対象：八戸工業大学同窓生のご子女、弟妹
減免額：入学金から175,000円を減免

お問い合わせ先：入試部入試課

電話 0178-2518000(直通)

・訃報 (柳谷弟吉名誉会長)

学校法人八戸工業大学名誉会長の柳谷弟吉氏が2月13日にお亡くなりになりました。享年87歳でした。

柳谷名誉会長は、昭和31年、現在の八戸工業大学第一高等学校の前身である八戸高等学校の設立をはじめ、昭和47年の八戸工業大学設立など、本学園の発展に尽力されてこられました。また、漁業家としても地域の発展に大きな力を発揮されてきました。長年に亘るこれらの功績により、昭和63年に藍綬褒章、平成2年に八戸市功労者表彰、平成12年に青森県褒章、平成22年には旭日中綬章を受章されました。数々のご功績を偲びつつ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局（学務部学生課）
TEL.0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

蒼峰会（機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科）
TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

水交会（電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科・電気電子システム学科）
TEL.0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

シビル会（土木工学科・環境建設工学科）
TEL.0178-25-8067 E-mail:dosokai-c@hi-tech.ac.jp

拓北会（建築工学科）
TEL.0178-25-8040 E-mail:dosokai-a@hi-tech.ac.jp

学匠会（エネルギー工学科・生物環境化学工学科・バイオ環境工学科）
TEL.0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp

うみねこ会（システム情報工学科）
TEL.0178-25-8080 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン同窓会（感性デザイン学科）
TEL.0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

同窓教職員の会事務局（入試部入試課）
TEL.0178-25-8000

同窓会事務局から

●ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付下さい。

●同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生がおりましたら、本部事務局まで電話またはメールで送付先（氏名、現住所、学籍番号または卒業年科）を連絡するようお願い下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

協賛金のお願い

平成14年3月に同窓会報第1号（創刊号）を発行以来、号を重ねて今回も約12,000名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様に協賛金のお願いをさせていただいております。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方

〈お問い合わせ〉

フリーダイヤル 0120-10-9899（内線92） 平日10:00～17:00
フリーFAX 0120-10-9184 24時間受付